

# うたしない 市議会だより

## 第38号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成27年2月1日



常任委員会で小学校を視察

### 議会の動き

#### 年頭のあいさつ

議長 山崎 数彦

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。輝かしい初春をご家族お揃いで健やかに迎えのことと、市議会を代表して心からお慶び申し上げます。

早いもので議長を拝命し4年が経ちました。この間、議会の運営及び活性化のために叱咤激励、さらにはご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地方自治は議会と首長の二元代表制であり、常に市民を交えた三角形であります。

この中で地域の課題をすくいあげ議論を重ね、そして政策を創り、提言して住民福祉の向上を図る、これが議会の

役割です。

今年も市民の声を大切に切磋琢磨してまいります。

市民の皆さまのご健勝をご祈念し年頭のあいさつと致します。

#### 定例会の開催

12月16日～19日までの4日間、第4回定例会が開催されました。

初日16日は、平成25年度決算審査特別委員会に付託されていた報告1件、議案5件が審議されました。

17日は休会とし、行政常任委員会に付託された議案5件が審査されました。

一般質問は18日4名、19日3名が行い、その後、意見書5件が審議可決され閉会しました。

## 平成26年 第4回定例会 12月開催

### もくじ

- 議会の動き ..... 1P
- 一般質問 ..... 2～4P
- 委員会報告 ..... 4P
- 可決された意見書 ..... 4P



下山 則義

一 定住の促進について

現在、当市は人口の減少に歯止めをかけるため、様々な政策を実施していますが、今後も許される限り、当市の魅力ある政策を打ち立て、定住の促進を図るべきと考えます。

問 小・中学生医療費の無料化を実施していますが、高校生に対してもその枠を広げ、医療費の無料化を考えるべきと思いますが、お考えを伺います。

答 現在の市単独分子ども医療費無料化は、未就学児も含まれており、0歳から中学生まで263名で、その医療費助成額は、349万円です。

なお、歌志内市から高校へ通う生徒数は、26年4月現在で、73名と確認しており、現在、高校生と未就職者等の18歳までを年齢拡大として精査検討を続けておりますが、今後、最終的な決定がなされるものであり、平成27年度に向け準備を進めてまいります。

問 以前、歌志内高校の生徒に対し、運転免許証取得の料

金に助成制度がありました。人口減少に歯止めをかけるため、その制度を復活させ、高校へ通う生徒が、当市の自動車学校で免許証取得の際、料金の一部助成を行うべきと思いますが、お考えを伺います。

答 当時は、歌志内高校への進学する生徒数の確保を目的とした制度です。このため助成制度を復活する考えはありません。

二 保育所と幼稚園の今後について

問 「子育て世代と市長の懇談会」において、保育所と幼稚園の管理運営について説明及び、話し合いがありました。が、両施設の今後の基本となる方向性についてその内容を伺います。

答 今後の幼児数の推計では、各年ごとに10名程度であり、幼稚園・保育所を単独で経営していくことは、幼稚園教育・保育の観点からも好ましくないこと、両施設とも老朽化していることなどから、一体化した認定こども園を設置する方向で、教育委員会と保健福祉課において、検討していることを懇談会で、説明したところとあります。



めが さとし

一 住民サービス・定住について

当市では今数々の住民福祉サービスの拡充と充実を行っているが、更なる住民サービスの向上を目指し人口減少の歯止めを行わなければならない大事な時期にきています。

子ども医療費無料化・高校生支援・温泉優待券・福祉灯油・肺炎ワクチンなど、行政として様々な工夫や提案を行っている、住民がいかに住み続けて良かったと思える街にするか常に考えていると思います。

財政的に厳しかった時から見て、今は少しばかりでも財政は良い方向へ向きつつあります。これは職員の必死な努力と市民の方々の協力なくしてはできなかつた事だと思えます。

その協力してもらった市民に対して少しづつでもサービスで応えて行く事が今の行政の役割ではないかと考えます。そこで、

問 就学援助費（PTA費・クラブ活動費・生徒会費）と給食費の全額助成を行っては

どうか。

答 就学援助費の援助は中空知では1市2町が実施している。当市ではPTA会費だけが助成対象になっている。

また中学校ではクラブ活動において、移動するバス等の移動は市で援助しているが、今後も就学援助費に関しては検討して行く。

給食費全額助成した場合は、本年度分では小中学校合わせて約900万円位になる。

問 敬老パス（バス・タクシーを利用する方）の発行を行ってはどうか。

答 当市でも一度やっていた事業であるが、当時と現在とは市内の買い物事情が大きく変わっているので、今の段階では敬老パス事業を行う事は考えていない。

問 定住自立圏構想などで近隣市町や企業を巻き込んで行う事も視野に入れてみてはどうか。

答 滝川市長から（移動手段の確保として）コミュニティバスの検討を定住自立圏構想の中で行いたいと言う話もある。これらの推移を見ながら今後検討して行くことになる。



湯浅 礼子

一 高齢者にやさしい街づくりについて

問 本年、第2・3回定例会において、認知症サポーターについて質問しているが、再度「認知症サポーターの育成とキャラバンメイトの養成について」当市の考え方は。

答 認知症サポーターについては、来年度に当市でも養成講座の開催を検討している。

また、キャラバンメイトは、サポーター養成講座の講師を務めるなど、認知症支援の指導的、リーダー的役割を担うものとなっており、受講対象者が限定されている。まずは、一般市民の皆さまが受講できるサポーター養成講座を開催し、サポーターになって頂き、認知症の方の身近な存在として、地域で支える推進役になって頂きたい。

二 人口減少問題について

問 現在、最大の課題である当市の人口減少に対する取り組みについて、また団塊世代が75歳を迎える2025年歌志内市の将来像・展望について。



# 一般質問

**答** 人口減少対策については、当市の最重要課題の一つとして、新たな産業の創出による雇用の場の確保とともに、移住・定住の促進を図るため、子育て支援や高齢者対策など、幅広い分野での施策を展開してきたが、それらの施策が実を結ぶまでに至っていない。

地道にこれらの施策を進めていくことが重要。このため「第5次基本構想」が平成27年度で終了するので、次期基本構想を来年度中に策定する予定。小さくても住んでいて良かったと実感できる街づくりを目指し、市民の皆さんのご意見も伺い、当市の将来像を示して行きたい。

**三 地方創生について**  
**問** 臨時国会で地方創生関連法案が成立したが、当市の見解を伺います。

**答** 今回成立した「まち・ひと・しごと創生法」で、人口減少に歯止めをかけられるよう努力したい。今後、国が示す「総合戦略」並びに都道府県や市町村に求められるとされている「地方版総合戦略」の策定内容について、情報収集や当市の実情を踏まえながら検討する。



本田 加津子

## 一 高齢者にやさしいまちづくりについて

**問** 高齢者肺炎球菌ワクチンについて、今年度の対象者数を伺います。

**答** 対象者数は、374人で、案内と無料クーポン券を郵送し11月4日から予約を開始。

**問** 65歳から5歳刻みでの接種という事ですが、高齢者の健康寿命を延ばすという観点から、せめて80歳以上の方に一斉接種はできないか。

**答** 当市では65歳から5歳刻みを対象に無料で実施している。近隣市町をみても同じような国の基準に基づいて実施している。現在は国の基準に従って行く。

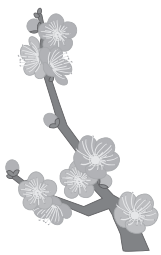
**問** 買い物支援として具体的な考えを伺います。

**答** 買い物に行きたくても行く事ができず、不便を感じている方がいるというのが現状です。現在、市内でも品物を配達してくれる商店や、市内外の移動販売車が運行しています。また、隣近所など地域の中で、車を持っている方に同乗

して出かけたたり、お店に行ける方に依頼したり、必要な品物を買ってきて貰うなど、地域の支え合いで過ごされている状況だと思えます。今後は、他市町の実施状況や先進地事例を参考にしながら、当市の現状にあった地域の支え合いによる買い物支援が展開されるよう体制づくりを検討する必要があります。

**問** シルバーハウジングに入居申込みをしてもなかなか入居できない状況だと聞く、従来の抽選方式ではなく優先順位などを付けるなどの仕組みに取り組む事はできないものか。

**答** 24年度では、入居5間口に対して応募12件あり、入るのが厳しい状況です。入居できない方は、再度抽選という事になる。落ちた方の順番待ちが可能かどうかという事かと思うが、色々他市町村でも、そのような事でやっている街もあるので、今後検討していく。



かわの 敏夫

## 一 平成27年度予算の方向性について

**問** 財源の効果的活用として選択と集中を掲げているが、平成27年度予算の主眼として、住民生活の安全、快適性について・住民福祉の充実について・教育環境の向上について・投資的事業について・交付金、補助金に関する考え方について・基金の積み立て取り崩しの考え方について・住民サービスの復元、拡充についての考え方を伺いたい。

**答** 現在新年度予算を取りまとめている。相対的な方針は歳入に見合った歳出が予算の基本であり、「選択と集中」を徹底し限られた財源を効率的・効果的に活用し、市民ニーズに対応するとともに持続可能な財政構造を確立し身の丈に合った財政運営を主眼として取り組む。投資的経費については必要性、緊急性等により事業選択をし、補助金については、原則26年度予算額を上限と考える。財政調整基金への積み立てについては、交付税の落ち込みが見込まれ

るため当初予算計上は困難にしても、余剰財源が生じた場合には、財政危機に陥る事のないよう積み立てる。その他の基金は、事業目的に沿った積み立て及び取り崩しをする。  
**問** 議会報告会でも、市政懇談会でも聞くのが、買い物をする所がない。市営スーパーの検討はされないのか。  
**答** 他市の情報を収集しているが、NPO法人の例はあるが直営の検討はされていない。  
**問** 個人の商店のそれぞれのノウハウを生かして、集約したスーパー形成のサポートを行政が行う事はできないか。  
**答** 歌志内の特産品開発等にも関わるが、各民間の方の話を十分聞きながら反映できるか検討する。  
**問** 太陽ファームの今後を憂う市民の意見があるが市の対応はどうか。  
**答** ブドウ栽培としては、難かしいとの事。羊の飼育については続けるとの事。今後の支援も検討する。  
**問** 年々歌志内の子供達が減っている。予算の集中を子供に向けてはどうか。  
**答** 今後も保護者負担の軽減を目的の予算を計上する。



梶 敏

一 地方創生について

問 政府は地方に活力をと、地方創生の政策を実施しようとしているが、この政策は、当市にとってどの様に受け止め、どの政策に期待しているのか伺います。

答 地方創生は、国が少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口過度の集中を是正し、活力ある日本社会の維持のため、まち・ひと・しごと創生対策を総合的かつ計画的に実施するとしたものです。当市を含め地方自治体は人口減少に歯止めがかからない状況です。今回成り立した「まち・ひと・しごと創生法」により、人口減少に歯止めをかけられるよう努力していきたい。今後、国が示す「総合戦略」並びに、都道府県や市町村に求めるとされている「地方版総合戦略」の策定内容について、情報収集や当市の実情を踏まえながら、策定について検討する。

二 市有林について

問 傾斜地の雑木林は、これ

から雪が積もり、その重さで古木等の枝折れや傾壊の危険があり、また、野生動物が木の葉や根などを食べることにより木々が不安定な状態になることで、雑木や市有林の近くに住んでいる民家に危険を及ぼす影響が考えられます。その危険箇所の把握と調査をすべきと思うかがか。

答 当市は、ウナギの寝床と言われた狹隘で多くの沢に集落を形成してきた地形です。集落地における雑木や傾斜地については、従前より北海道において、市有地、民有地、道有地を問わず、危険箇所となるべき調査を実施し、急傾斜地や砂防対策の必要性がある場所を指定し、防災を含め対策工事を順次行っているところと見えます。市としては専門的な知識を有するこれらの調査を実施することができないので、地域住民から寄せられた相談事案について、個別に対応している。状況によっては、北海道へその情報を伝え、要望を含めて対策を講じていた

だけけるよう働きかける。



〔行政常任委員会報告〕

委員長 川野 敏夫

10月27日

- ・ 小学校の管理運営状況について（現地視察含む）
- ・ 幼稚園の管理運営状況について（現地視察含む）
- ・ 中学校の管理運営状況について（現地視察含む）
- ・ 給食センターの管理運営状況について（現地視察含む）
- ▼11月20日
- ・ 職員の研修及び福利厚生者の状況について
- ・ 嘱託職員及び賃金雇用者の状況について（福利厚生含む）
- ・ 広報誌発刊及び編集について
- ・ 除排雪の計画について
- ・ 市立病院の運営状況について



可決された意見書

- 女性が輝く社会の実現に関する意見書
  - 難病や小児慢性特定疾病の患者の自己負担の見直しを求める意見書
  - 後期高齢者医療制度の「特例軽減措置」の継続を求める意見書
  - 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書
  - 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書
- ※これら5件の意見書は12月19日に内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。

一部事務組合協議会

- ▽11月5日
- ・ 北海道後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会 梶 議員
- ▽11月26日
- ・ 石狩川流域下水道組合議会 第2回定例会 本田議員
- ・ 中空知広域水道企業団議会 第2回定例会 山崎議長 女鹿議員
- ・ 空知教育センター組合議会 第2回定例会 下山副議長
- ▽11月27日
- ・ 中空知広域市町村圏組合議会 第2回定例会 山崎議長 湯浅議員
- ・ 中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会 山崎議長
- ▽11月28日
- ・ 砂川地区保健衛生組合議会 第2回定例会 川野議員

編集後記

今回の議会だよりは早いもので再発行から6回目になります。多くの市民の皆様様に議会を知って頂く為にこれからも頑張りますので宜しくお願致します。

編集長 めが

↑幼稚園での

英語の授業風景